

第5学年2組 学級活動指導案

東松山市立松山第二小学校

教諭 廣部 純子

1 議題 「宿泊学習の思い出を残そう」

2 児童の実態と議題選定の理由

本学級の児童は、明るく素直な児童が多く、楽しく学校生活を過ごしている。学習が遅れがちな友達にもやさしく、どんな時にも助け合おうとしている。係活動にも進んで取り組み、レク係が企画したレクをみんなで楽しんだり、生き物係のクイズを楽しんだりしている。その一方で、普段は遊ぶグループが固定され、それぞれの興味・関心のあることだけを行っていることも少なくない。授業では、自分の考えを積極的に発表することができる児童がいるが、自信のなさや失敗を恐れることから発表を躊躇する児童もいる。そのため、その都度自分の考えを整理させ、書かせ、まとめてから発表するようにさせてきた。また、帰りの会に1分間スピーチを取り入れ、人前で話す経験を増やしてきた。

話し合い活動においては、これまでに「係を決めよう」「クラスの歌を決めよう」「バンガローレクを成功させよう」等の議題について話し合ってきた。自分の考えはもっているが、自分と異なる意見を聞き、賛成できるところ、受け入れられないところをよく吟味することができない。「比べ合う」場面では、「一回は手を挙げて発言しよう」と指導してきたが、司会から促されてもなかなか発言できない児童もいる。そこで、発表はできなくても、賛成なのか、反対なのか意思表示をし、参画しているという意識をもたせたい。そして、お互いを認め合い、良いという意見があれば、自分の考えが変わってもいいと話してきた。

本議題は、7月20日（日）、21日（月）、22日（火）に秩父市の「野外活動センター」に宿泊し、どの児童も楽しく活動できたので、その思い出を何かの形にして残そうというものである。宿泊学習には、クラスの全員が「協力・絆・感動（協力し合うことで、絆を深め、感動の宿泊学習にしよう）」というテーマのもと取り組んだ。そのテーマも心に留めながら、体験を思い出に残す活動を行い、宿泊学習の達成感を個々に味わわせたいと考え、本議題を選定した。また、この議題を話し合うことで、様々な意見をもつ個を認めながら話し合っていく姿勢や、友達の良いところを認め合える態度を身につけさせたい。

3 評価の観点と評価規準

集団生活や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級や学校の生活の充実と向上にかかわる問題に関心をもち、他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるための話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断、信頼し支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義や、学校集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。

4 事前の活動

月日 (曜日)	活動の場	活動の 主体	活動の内容	指導上の留意点 ◎目指す児童の姿
9月4日 (木)	業間休み	計画 委員	・議題ポストの提案 から、議題の選定 をする。	・計画委員は、輪番制とし、多くの役割 を経験できるようにする。 ・議題選定の視点、提案理由の意義を理 解して選定できるように助言する。
	帰りの会	全員	・議題を決定する。	・計画委員の提案をもとに全員で議題を 決定する。 ・提案されたすべての議題のよさを称賛 する。
9月5日 (金)	業間休み	計画 委員 提案者	・活動計画を作成す る。 ・提案理由を練り上 げる。	・みんなが納得できるような提案理由に なるように提案者に指導助言する。また、 前回の反省を生かそうとする視点 をもたせる。 ・提案理由に沿っためあてが考えられる ように助言する。
9月8日 (月)	業間休み	計画 委員	・決まっていること を確認する。 ・話し合うことを決 める。	・話し合うことを決める際には、全員で しっかりと時間をとって論議すべきこ とを選ぶようにする。
9月9日 (火)	学級の 時間	全員	・学級会ノートに自 分の考えを記入 する。	◎会の目的にあった内容等を学級会ノー トに書こうとしている。 (関心・意欲・態度) 【学級会ノート】
	業間休み	計画 委員	・学級会ノートに目 を通す。 ・話合いの準備をす る。	・学級会ノートに目を通し、話合いの見 通しがもてるようにする。 ・役割や仕事内容を確認して、意欲をも って活動できるようにする。
9月10日 (水)	朝の会	全員	・教師から言葉が入 った学級会ノー トを受け取る。	・学級会ノートに励ましの言葉を記入し、 活動意欲を高める。

5 本時のねらい

宿泊学習での経験を生かし、その体験がずっと思い出に残る思い出マップの内容を決める。

6 展開

第7回 学級会計画ノート		平成26年9月11日(木) 5時間目	
議題	宿泊学習の思い出を残そう		
提案理由	私たちは、楽しく野外活動センターに行ってくることができました。大変なこともあったけど、友達と協力し合えたことで、沢山の思い出ができました。大自然の中で友達と過ごした3日間は宝物です。そこで、このよい思い出を何かの形で残したいと思いました。そうすれば、クラスの仲がより深まり、宿泊学習の感動ももっと大きなものになると思うので提案しました。		
提案者 ()			
話合いのめあて	宿泊学習での体験がずっと思い出に残るような思い出マップを作ろう		
決まっていること	<ul style="list-style-type: none"> ・「何をのせるか」から4つ決める。 ・「野外活動センター思い出マップ」という題名で、模造紙にまとめる。 ・全体的なレイアウトは、事前に決めておく。 ・9月22日(月) 5時間目に班ごとに内容を紹介し合う。 ・完成したものは、4年生にも見てもらう。 		
計画委員	司会 () () ノート記録 () () 黒板記録 () ()		
話合いの順序	時間	気をつけること	用意するもの
1 はじめの言葉 2 歌「5年2組の歌」 3 計画委員の紹介 4 議題の確認 5 提案理由の確認 6 決まっていることの確認 7 めあての確認	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声ではっきりと言う。 ・元気な声でみんなで楽しく歌う。 ・自分のめあてをみんなに聞こえるように言う。 ・大きな声で言う。 ・提案者の思いが伝わるように発表してもらう。 ・みんなにわかるようにゆっくりと言う。 ・全員でめあてを読み、確かめるポイントがわかるようにする。 	学級会ボード 議題やめあてのカード 提案理由のキーワード 写真
8 話合い 話合いの柱① 「何をのせるか」	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・比べ合うところから話し合う。 ・出されている意見から、決まった数だけ決める。 	短冊 賛成・反対のじしゃく 決定のじしゃく
話合いの柱② 「楽しい思い出マップにする工夫」	15分	<ul style="list-style-type: none"> ・出し合うところから話し合う。 ・体験が思い出として残るような表し方の工夫を決める。 ・同じような意見を仲間分けして貼る。 ・提案理由やめあてを考えながら話し合えるようにする。 	時計 プログラム
話合いの柱③ 「たんとうを決めよう」	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・1つのところに人数が多すぎたり、少なすぎたりしないように意見を聞く。 ・その他、必要な係を決める。 	
9 決まったことの確認 10 ふりかえり 11 先生の話 12 おわりの言葉	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・はっきりと大きな声で発表する。 ・自分や友達のよいところを見つけられるようにする。 ・しっかり聞く。 ・話合いが気持ちよく終わるよう、元気よく言う。 	学級会ノート

7 指導上の留意点

話し合いの順序	○指導上の留意点 ◎目指す児童の姿
1 はじめの言葉	○明るい雰囲気話し合えるよう、笑顔で見守る。
2 歌	○緊張をほぐし、気持ちよく話し合いに入れるようにする。
3 計画委員の紹介	○その子なりのめあてが言えるように、事前に指導する。
4 議題の確認	○提案者の思いや願いを深め、全員が理解し、話し合いの指針となるようにする。
5 提案理由の説明	○提案理由の説明に提示する資料を用意しておく。宿泊学習での体験をよい思い出として残し、自分たちがさらに成長できることを意識できるように話し合いの目的を明確にする。
6 めあての確認	○提案理由をまとめたものであるのはっきりと読み意識付けを行う。
7 決まっていることの発表	○全員が共通理解できるようにする。みんなで発表するもの2つと、班の出し物で会を開くことを伝える。
8 話し合うこと	
①何をのせるか	○話し合いの柱①は、「比べ合う」から話し合いを進める。
②楽しい思い出マップにする工夫	○話し合いの柱②は、「出し合う」から話し合いを進め、出た意見を「比べ合い」、出しものを盛り上げるための工夫を決めるようにする。 ○理由をつけて発表できるようにする。
③たんとうを決めよう	○発言者が偏らないよう、できるだけ多くの児童が発言できるように司会者に事前に指導する。 ○時間を意識して話し合わせ、自分だけでなく、みんなにとってよい意見を考えるように助言する。 ○友達の意見を聞いて納得した上で考えを変えることは、集団生活上必要であることを助言する。 ○意欲的に自分の意見を発言しようとしている。 (関心・意欲・態度)【観察・発言】
9 決まったことの発表	○提案理由をもとに自分の意見を発言している。 (思考・判断・実践)【観察・発言・学級会ノート】
10 ふりかえり	○ノート記録に大きな声で発表できるように指導しておく。
11 先生の話	○学級会ノートに自己評価するとともに、友達のよかった点などを相互評価できるように助言する。
12 終わりの言葉	○提案理由を意識した発言等を称賛するとともに、前よりよくなったことを伝える。 ○計画委員の活動を称賛するとともに、次回の学級会の課題と今後の活動に向けての見直しを確認する。

8 事後の活動

児童の活動	○指導上の留意点 ◎目指す児童の姿
9月12日(金)学級の時間 ・班ごとに細かい役割を決める	○全員で役割を分担し、一人一人が活躍できるようにする。 ○活動の時間や場所、必要な用具等を十分に確保する。
9月16日(火)～9月19日(金)昼休み、学級の時間等	○意欲的に活動している児童、協力して活動している児童、工夫して活動している児童を称賛する。
・各役割の準備	○自分の態度を振り返り、今後に生かせるようにするとともに、友達のよいところも認められるように助言する。
9月22日(月)	◎決まったことをもとに、自己の役割について責任をもって準備や実践をしている。 (思考・判断・実践)【観察・振り返りカード】
・内容を紹介し合う	
9月24日(水)以降	
・4年生に見てもらおう、その後振り返り	